

平成 29 年度 事業計画の実施状況

- 1 「第 3 期 5 年計画」(平成 25 年度～29 年度)の推進
- 2 学習支援の強化(学習習慣の定着)
- 3 高校の生徒募集の安定化
- 4 中学校の運営・推進と生徒募集の安定化

(1) 教 育 面

- 1 「第 3 期 5 年計画」(平成 25 年度～29 年度)の推進

本計画の 3 本の柱、「学習活動と部活動の充実」「生徒の自主性の育成」「学校の独自性の追求」に基づいて策定した諸目標の達成に取り組んだ。

(1) 学習活動と部活動の充実

① 学 習 活 動

- 進学率の向上と、国公立大学合格者数の増を目指す。
- 進学意識の向上… 1 年の大学見学を秋から 7 月に早めて実施(継続)。
- 「進路の時間」の充実、体験学習や説明会への積極的な参加を進めたい。
- 進 学 状 況 (4 月 1 日現在)

国公立大学	合格者	21 名	(前年比 1 名減)
私立大学	合格者	166 名	(前年比 6 名減) ※ 延べ人数
看護学校	合格者	12 名	
専門学校	合格者	78 名	
就 職		93 名	
未 定		8 名	

○ 進 路 支 援

- ・ 推薦入試検討会、一般受験検討会の複数回実施
- ・ 1・2 年特進コースに対する学習定着度会議の実施と面接指導
- ・ 模試結果の情報の共有(HR 担任、授業担当、学年主任、管理職)
- ・ 全国チャレンジカップ「地域魅力 PR パンプ」優秀賞
- ・ 全国高校生ものづくり川柳コンテスト 金賞

② 部 活 動

「部活動加入 WEEK」の実施 部活への体験的参加

○ 部 活 動 実 績

女子バレー部 … 春高バレー出場(連続 5 回)、ベスト 32
全国私学大会出場

- 男子バドミントン部 … インターハイ出場
 (シングルス2名、ダブルス1ペア)
 国民体育大会出場(2名)
 東海高校選抜大会 団体優勝
 全国高校選抜大会出場
- 女子ソフトテニス部 … 全国高校選抜大会団体出場
 ハイスクールジャパンカップ(6月)の出場権を得る
- バトントワリング部 … バトントワーリング全国大会出場ノードロップ賞
 全国高総文祭(30年度)出場権を得る
- 将 棋 部 … 全国高総文祭出場
 女子の部2名出場、1名がベスト16
 全国高文連新人大会出場
- 書 道 部 … 全国高総文祭出場

(2) 生徒の主体性の育成

生徒一人一人が、問題や課題、将来の目標を見据え、自ら考え、工夫し、行動し、達成感を得ることのできる学校作り

① 生徒に責任を持たせることで、リーダーを育成する。

- 富士見祭や生徒集会の生徒主体の準備・運営。新たなアイデアの提案。

(3) 学校の独自性の追求

長い伝統を持った私立高校としての特色があり、生徒一人一人が愛校心をもてる学校作り

- 富士駅にポスター展示スペースを確保(継続)
- 学校開放(公開講座)中学生対象のサッカー、バレーボール、バドミントン
- ホームページの充実
- 英語の更なる強化や国際理解教育推進のため、ALTを1人増員した。

2 学習支援の強化(生活・学習習慣の定着)

生徒の生活習慣、学習習慣の定着を図る。

- 朝の登校指導 生徒指導部、環境安全部(継続)
- 教育課程を受験科目に重点化
- 各教科のシラバス作成(中学校は全学年完成。高校は昨年度完成し、今年度は一部改訂。)
- 特進コース … ベネッセによる学習習慣分析、学習定着度会議
 関係教員全体による分析会だけでなく、教科・設問ごとに学習定着度を確認。
- 特進Ⅰ・Ⅲ類 … 7限終了後の学習活動「High-Advanced Project」
 (通称HAP)の開始

- 特進Ⅱ類 … Ⅱ類ゼミ、全員参加のテスト前学習、年間2回全国模試受験
- 進学コース … 文理系の進学コースゼミ、テスト前学習（継続）
WSの内容の工夫と実施（天声人語、基礎力の確認と補充、英語はST制導入による学習意欲の向上、進路）
- 中学校に部活動を導入
- 平成30年度から2学期制から3学期制への移行

3 学習環境の整備と安全教育

- スマホ講座の実施（生徒向け、保護者向けの計2回実施）
- 生徒事故 … 大きなものはなかった。安全教育の継続
- 施設整備 … 電子黒板の導入（特進コース、中学校に加え、進学コースの一部）
Ⅲ類用教室の改修完了。12月より使用開始。

4 高校の生徒募集の安定化

- ◎ 29年度入学者は383名（単願326名、内進生16名、併願41名）
30年度入学生は338名（単願310名、内進生15名、併願13名）
- (1) 進路に期待の持てる学校
- (2) 一人一人の生徒に居場所のある明るくて楽しい学校
- (3) スクールバスの運行（4コース、登校1便、下校2便）
- (4) 広報活動
 - ・1日体験入学の内容の改良：本校教員による授業（4年目）
 - ・中学校訪問（各中学校7回）
 - ・土曜入試説明会（4回）、夜間入試相談会の実施（5回）
 - ・中学校での学校説明会（23回）、私塾主催進学相談会参加（2回）
 - ・塾・予備校の教員対象学校説明会、260塾に資料郵送
 - ・東部私学展（1回、沼津、相談者10組）
 - ・新聞折込み広告（学校見学会、体験入学）
 - ・HPの充実による広報（随時更新）⇒アクセス数一日当たり200件前後

5 中学校の運営・推進と生徒募集の安定化

- (1) 教育活動
 - ・行事により、集団としての成長があり、一人ひとり精神的に成長した。
 - ・事前事後の活動を充実させ、効果を高めた。
 - ・高校Ⅲ類に進んだ1期生の講話などにより、中3生の意識を高めた。
 - ・中学校併設4年目となり、現状やこれまでの反省をもとに、中高の接続に関する検討を行った。

(2) 財 務 面

「健全財政の堅持」の実現に努め、平成29年度決算では基本金組入前収支差額1,310万円の黒字、収支差額1,187万円の黒字であった。累積収支差額は16億円1,736万円で経常収支の1.49倍という黒字であるが、当初2倍の財務目標は達成できませんでした。

- 平成29年度当初の学園規模は下表のとおりです。(平成29年4月現在)

	富士見中学校	富士見高等学校	合 計
生 徒 数	53名	1,056名	1,109名
専 任 教 員 数	4名	40名	44名
常 勤 講 師 数	2名	30名	32名
非 常 勤 講 師 数	1名	23名	24名
専任事務職員数	1名	6名	7名
事務嘱託員数		5名	5名

- 人件費関係比率は、やや全国平均を下回っているが、依存率については学則定員充足率が80.3%のため全国平均を上回っている比率と思われる。

	平成29年度 富 士 学 園	平成28年度 全国高校平均
人 件 費 率 (対経常収入)	62.4%	64.1%
人 件 費 依 存 率 (対生徒納付金)	129.4%	120.3%
補正人件費依存率 (対生徒納付金+経常費補助金)	69.2%	71.0%

- 教育環境整備について

既存校舎及び設備等の老朽化に伴う改修については、引当特定資産等の取崩しは行わず、平成28年度繰越支払資金にて対応できた。

既存校舎改築に備え、施設設備拡充引当資産（有価証券固定含む）への積み増しを進めてきたが、当年度では1億2,078万円程度の繰入とした。